

(共同リリース)

JAL × Wi2 訪日外国人観光客向け無料 Wi-Fi サービスを開始 国内の航空会社では初めて全国規模で展開

日本航空株式会社
株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス
2014年12月2日

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:植木 義晴、以下「JAL」)と、KDDIグループの株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大塚 浩司、以下「Wi2」)は、訪日需要の創出ならびに訪日外国人観光客の利便性向上に向けて、2014年12月より、JAL海外地区ホームページ(世界26地域、日本語を除く11言語)^{※1}において、Wi2の公衆無線LAN(Wi-Fi)サービス「Wi2 300」^{※2}が無料で利用できるIDとパスワードの提供を順次開始します。日本の航空会社が公衆無線LAN事業者と提携して、全国規模の公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスを無料で提供するの国内では初めての取り組みになります。

JALとWi2は、より多くの海外のお客さまを日本にお迎えし、よりよいサービスを提供することで、日本の「観光立国」実現に貢献すべく、今後も新たな挑戦を続けてまいります。

※1 JAL 海外地区ホームページとは、海外地区発のお客さま向けの JAL ポータルサイトです。

※2 「Wi2 300」とは、Wi2 が提供する、全国最大規模のエリアを誇る公衆無線 LAN サービスです。

この度の取り組みでは、「Wi2 300 ワンタイムプラン(1週間)」をご提供します。詳細はサイト(<http://wi2.co.jp/jp/300/>)をご覧ください。

1. 目的

総務省の調査によれば、訪日外国人観光客の約 5 割が無料 Wi-Fi サービスの利用を希望しており^{※3}、現在、空港や駅、コンビニエンスストアなどで無料 Wi-Fi 環境の整備が進んでいます。今回の提携では、JAL が持つ訪日外国人観光客との接点と、Wi2 が提供する全国 200,000 か所以上(2014 年 11 月時点)の Wi-Fi スポットが利用できるサービスを連携させ、利便性の向上によるさらなる利用促進を図ることとしました。

無料 Wi-Fi サービスによって海外からのお客さまの満足度を高め、訪日外国人需要のより一層の創出を目指します。

※3 出典:「総務省 国内と諸外国における公衆無線 LAN の提供状況及び訪日外国人観光客の ICT サービスに関するニーズの調査研究インターネットアンケート調査結果」より(2014 年 3 月 27 日)

2. 企画概要

海外発日本行きの JAL 国際線航空券をご購入いただいたお客さまに対し、JAL 海外地区ホームページにて、Wi2 が提供する公衆無線 LAN(Wi-Fi)サービス「Wi2 300」に 7 日間無料で接続可能な ID とパスワードを提供します。お客さまにオンラインで ID とパスワードを取得いただくことで、全国最大規模のエリアを誇る公衆無線 LAN(Wi-Fi)サービスを簡単にご利用いただくことができるようになり、公共交通機関、カフェなど街中で、お手持ちの Wi-Fi 搭載端末から観光情報などを入手いただけます

3. 提供開始時期

①英語サイト: 2014 年 12 月 2 日(火)

②英語以外の外国語サイト(10 言語): 準備ができ次第、順次展開する予定

4. 利用方法

【ID とパスワードの取得方法】

JAL 海外地区ホームページ TOP の JAL free Wi-Fi バナーをクリックすると、取得方法の説明画面が表示されます。画面の案内に従って操作し、ID とパスワードを取得します。

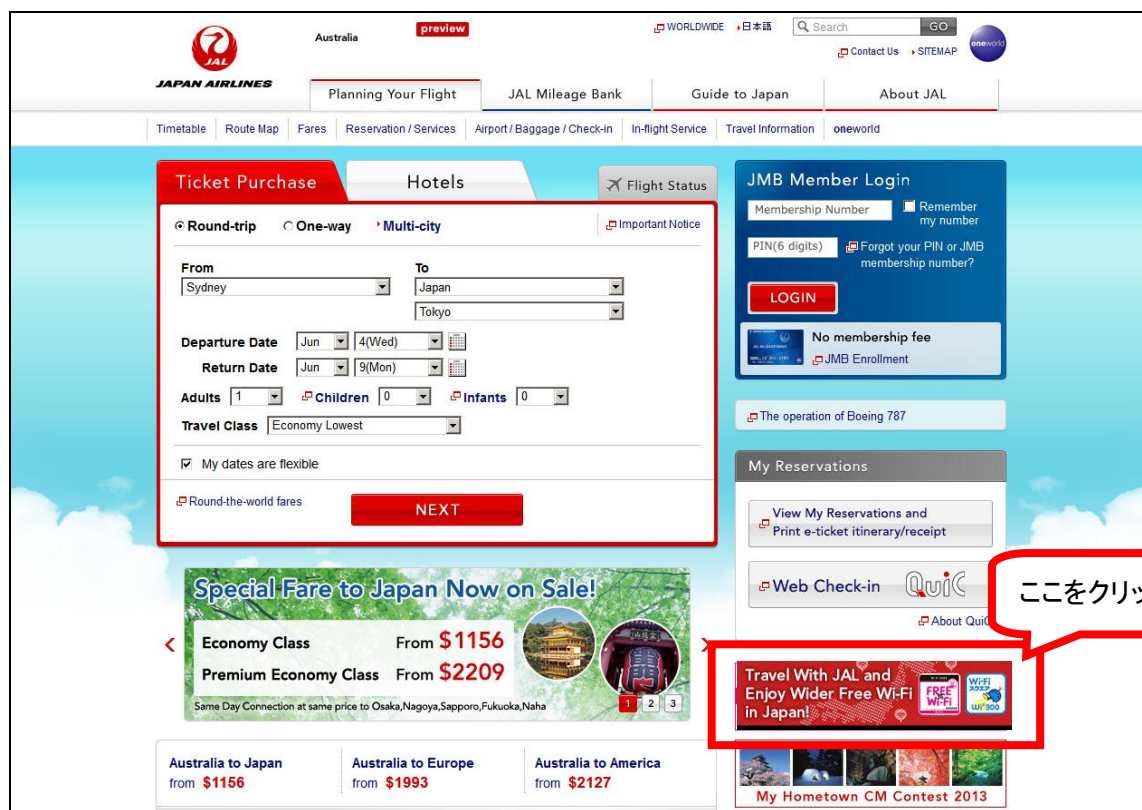


図 1 JAL 海外地区ホームページ TOP ページ(英語版)

【無料 Wi-Fi サービス利用方法及び利用可能エリア】

利用方法および利用可能エリアは「Wi2 300」

サイト(<http://wi2.co.jp/jp/300/>)をご覧ください。



図 2 Wi2 300 エリアサイン

以上